

さびを固めて安定化

塗布形素地調整軽減剤

平成27年度
推奨技術

新技術活用システム検討会議
(国土交通省)

サビシヤット

特許商品

NETIS 登録番号
KT-060143-VE
(国土交通省 新技術情報提供システム)

特長

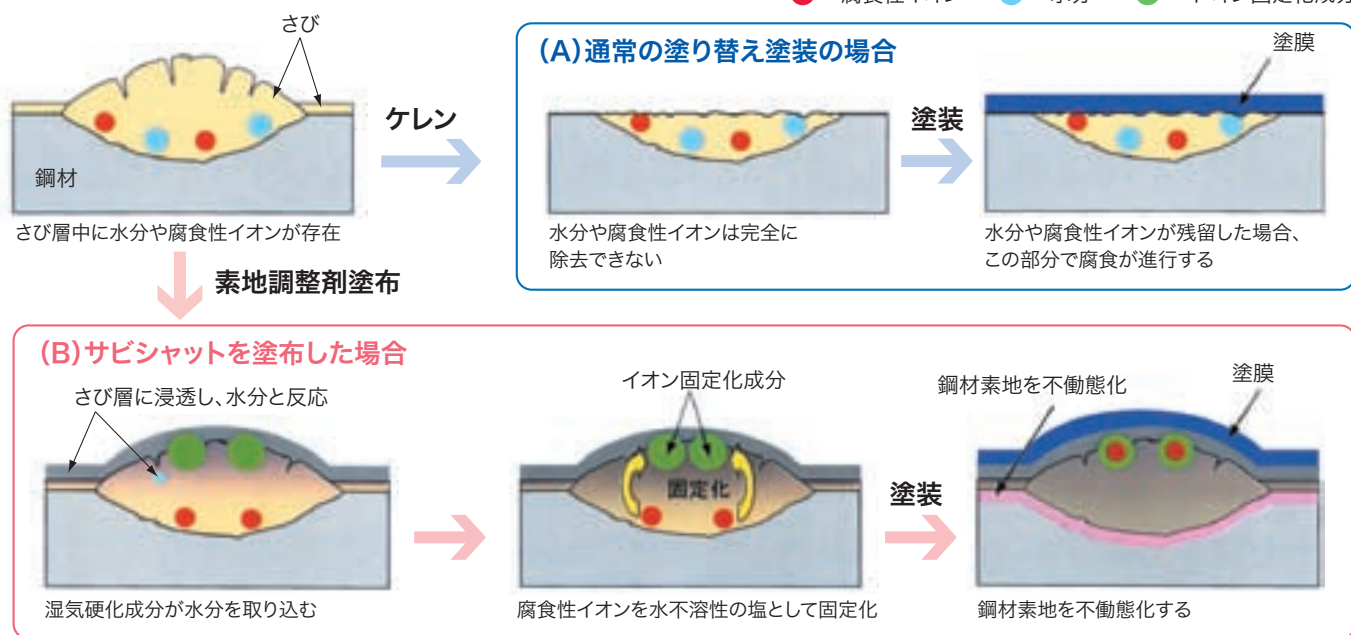
従来の物理的な素地調整法が不要、又は軽減できる塗布形素地調整軽減剤です。

従来のプライマーや下塗りに分類されるものではなく、物理的素地調整法を塗布形に転換します。

- 1) 粉塵や騒音の発生を低減。
- 2) 4種ケレン(清掃ケレン)程度の素地調整で高レベルな下地づくりが可能。
- 3) さび層への浸透性、脆弱層の強化に優れる。
- 4) 湿気硬化形樹脂を配合、さび層中の水分を除去。
- 5) さび層中の腐食性イオンを無害化。

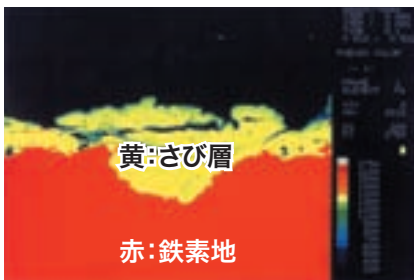
塗布形素地調整剤のメカニズム

● : 腐食性イオン ● : 水分 ● : イオン固定化成分



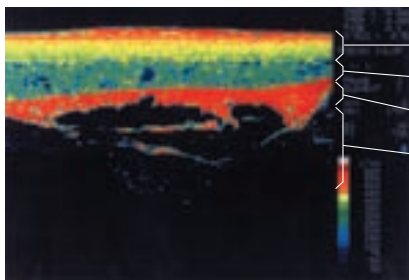
さび層への浸透状況(浸透前→浸透後)

1) EPMAによるFeの分析



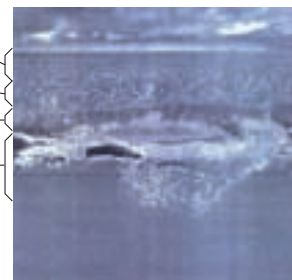
▲さび層中には微細なひび割れや孔隙が存在

2) EPMAによるCの分析



▲さび層の微細なひび割れや孔隙に「サビシヤット」の樹脂が含浸

SEM写真(断面)



サビシヤット

特許商品

平成27年度
推奨技術

新技術活用システム検討会議
(国土交通省)

NETIS 登録番号

KT-060143-VE

(国土交通省 新技術情報提供システム)

性状

項目	内容			
容姿	二液性			
荷姿	2.4kgセット(A液:2.0kg、B液:0.4kg) 6.0kgセット(A液:5.0kg、B液:1.0kg)			
色相	乳褐色			
光沢	—			
密度 (23℃)	塗料	1.08		
	揮発分	0.87		
粘度(23℃)	55mPa・s			
加熱残分	55%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	2時間	1.5時間	1時間
	半硬化	5時間	3時間	2時間
標準膜厚	—			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界 (下限～上限)	SDS参照			

※上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

塗布基準

項目	内容			
下地処理	右記『施工上の注意 1)』参照			
混合割合	A液 10部、B液 2部(重量比)			
熟成時間(20℃)	—			
可使時間	5℃	20℃	30℃	
	9時間	5時間	3時間	
塗布方法	刷毛塗り、ローラー塗り			
洗浄シンナー	ウレタンシンナー、ラッカーシンナー			
塗布法	塗布方法	刷毛塗り、ローラー塗り		
	希釈率	—		
	標準使用量	0.10kg/m ² /回		
	標準膜厚	—		
塗装間隔	ウエット管理膜厚	—		
	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	5時間	3時間	2時間
	最大	3日	3日	3日

注)標準使用量は、従来の実績値に基づき算出したものです。

関連法則

項目	A液	B液
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

施工上の注意

- 1) 被塗面の塩分・油脂・湿気・塵埃・水分その他の有害な付着物は完全に除去し、付着力のない浮きさびはマジクロンなどで除去して下さい。この際、1点式電磁膜厚計を用いて、30cm×30cmの範囲のさび層の厚みを9点測定し、その最大値が100μmを越える場合はディスクサンダーなどを併用して100μm以下にして下さい。
- 2) 使用時には、A液とB液を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にしてから塗布して下さい。
- 3) A液とB液を混合した後は、可使時間以内に使いきって下さい。
- 4) 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがありますので、必ず規定時間以内で塗り重ねを終了して下さい。規定時間を過ぎた場合は、塗布表面をサンドペーパーまたはパワーブラシなどで研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから再塗布して下さい。
- 5) 塗布作業終了後は、塗布器具を直ちに洗浄して下さい。洗浄には必ずウレタンシンナーまたはラッカーシンナーをご使用下さい。
- 6) 塗布後すぐに雨に当たると、塗面が白変する恐れがあるのでご注意ください。
- 7) 高湿度(85%RH以上)の時の塗布作業は避けて下さい。可使時間が短くなり、塗布面が発泡することがあります。

使用上の注意

引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

⑥⑦

※本チラシに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。

DNT 大日本塗料株式会社

- 大阪営業所 ☎06-6466-6618 ☎554-0012 大阪市此花区西九条6-1-124
- 東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
- 札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
- 仙台営業所 ☎022-236-1020 ☎983-0034 仙台市宮城野区扇町5-6-20
- 名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
- 広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
- 福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーダイヤル 0120-98-1716

VEGETABLE OIL INK 地球環境への負荷軽減のために、植物油インキを使用しています。